

社会福祉法人 宝塚いくせい会
令和2年度 事業報告書

I 総 括

社会福祉法人宝塚いくせい会は、平成24年4月の創業開始以来、障害者総合支援法における就労継続支援A型・B型事業と短期入所事業を、また、宝塚市地域生活支援事業に基づく日中一時支援事業を実施し、公益事業として介護保険法における指定福祉用具貸与事業を実施しています。

令和2年度においては、1月より世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症によって、法人の事業運営にも大きな影響を及ぼしました。令和2年度中には2度にわたり緊急事態宣言が発出され、現在も深刻な状況が続いています。宝塚いくせい会としましては、感染予防を徹底するとともに、安全で安心な障害福祉サービスの提供に努めています。

II 経営成績

事業活動計算書(法人全体)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減
事業活動収益	246,874,276 円	246,920,964 円	△ 46,688 円
サービス活動収益	243,439,867 円	242,425,886 円	1,013,981 円
うち、就労支援事業収益	106,057,622 円	102,995,960 円	3,061,662 円
うち、自立支援給付費収益	92,406,625 円	99,507,147 円	△ 7,100,522 円
サービス活動外収益	3,254,669 円	3,044,079 円	210,590 円
特別利益	179,740 円	1,450,999 円	△ 1,271,259 円
事業活動費用	240,583,093 円	249,073,010 円	△ 8,489,917 円
サービス活動費用	238,625,273 円	245,685,193 円	△ 7,059,920 円
うち、人件費	102,649,844 円	112,647,636 円	△ 9,997,792 円
うち、事業費	12,270,075 円	12,605,474 円	△ 335,399 円
うち、事務費	15,244,719 円	15,676,783 円	△ 432,064 円
うち、就労支援事業費用	104,234,618 円	100,875,692 円	3,358,926 円
うち、減価償却費	4,752,833 円	4,217,131 円	535,702 円
サービス活動外費用	1,778,073 円	1,947,817 円	△ 169,744 円
特別損失	179,747 円	1,440,000 円	△ 1,260,253 円
差 引	6,291,183 円	△ 2,152,046 円	8,443,229 円

令和2年度の法人全体の経営成績(事業活動損益)は、前年度の赤字決算から629万円の黒字決算(前年度215万円の赤字)となりました。これは、5月の一カ月、三カ所の短期入所事業所を閉所したにもかかわらず、収入の減収分を上回る経費の削減があったことから、短期入所事業全体では前年度に比べ損益が250万円改善しています。また、宝塚市所管の日中一時支援事業については、報酬算定要綱の見直しがあったことから大幅に受託収益が増え、前年に比べ570万円の収益増となっています。

就労継続支援事業については、損益ベースで比較すると、ほぼ前年度並で推移しています。

Ⅲ 障害福祉サービス事業等の実施

Ⅲ-1 コロナ禍における障害福祉サービスの実施状況

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発出状況(兵庫県に關係するもの)

- 1回目 令和2年4月7日から5月31日まで、兵庫県は5月21日に解除
- 2回目 令和3年1月14日から3月7日まで、兵庫県は2月28日に解除
- 3回目 令和3年4月25日から5月31日まで(予定)

① 就労継続支援A型・B型事業(宝塚育成事業所)

令和2年の一回目の緊急事態宣言発出時には、感染拡大を防止するため5月から段階的な対応を実施しました。まず、交通機関を利用している利用者については、事業所の車両による送迎を実施するとともに、利用者を通所組と自宅待機組の2グループに分け、事業所での「密」の回避に努めました。

一方、福祉用具貸与事業については、通常どおりの事業を継続して実施しました。

② 短期入所事業(安倉ホーム、ENJOYハウス、来夢)

令和2年の一回目の緊急事態宣言発出時には、短期入所三事業所については5月の全日を休所としました。

また、令和3年1月の緊急事態宣言発令時にはENJOYハウス利用者のなかに濃厚接触者の利用者がいたことから、1月20日から2月8日の間、ENJOYハウスを一時的に休所としました。

⑤ 日中一時支援事業所(つばさ)

令和2年の一回目の緊急事態宣言発出時には、事業所は開設しましたが、感染拡大を予防するため、利用者の入浴支援サービスは中止としました。

Ⅲ-2 多機能型就労継続支援A型・B型事業(宝塚育成事業所)

利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、通所による就労の場を提供するとともに、個別支援計画に基づき、就労や地域生活に必要な知識や能力の向上のための支援を適切に行いました。

(1) 運営状況及び訓練給付費の状況

区分	年度	定員	契約人数	年間延べ開設日数	訓練給付費
A型	令和2年度	12人	12人	240日	20,148,570円
	令和元年度	12人	11人	239日	18,137,476円
	増減	0人	1人	1日	2,011,094円
B型	令和2年度	15人	15人	240日	23,779,809円
	令和元年度	15人	16人	239日	25,693,666円
	増減	0人	△1人	1日	△1,913,857円

※ 定員、契約人数は、令和3(令和2)年3月31日現在

(2) 就労支援事業の状況

① 生産活動業務

区分	業務の内容
A型	<p>(介護保険事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険指定事業者として介護福祉用具の貸与、販売業務 <p>※令和2年度末契約件数 543件(令和元年度末 509件)</p> <p>(受託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝塚市下の池公園維持管理業務 ・宝塚市立病院植栽管理業務
B型	<p>(介護保険適用外事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険適用外事業として福祉用具の貸与、販売、消毒業務 <p>※令和2年度末契約件数 495件(令和元年度末 491件)</p> <p>(受託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝塚市下の池公園維持管理業務 ・宝塚市立病院植栽管理業務 ・宝塚市医師会の書類配送業務 ・各所、除草清掃業務 ・各種軽作業請負 <p>(招福縁起物、宝塚牛乳清拭等、タオル・マスクの袋詰め、シール貼り等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす等福祉用具の消毒業務(内部受注を含む) ・その他自治会等のイベント用物品の運搬業務等

② 就労支援事業収支の状況

区 分		令和2年度	令和元年度	増 減
A 型	収 益	86,762,138 円	82,060,072 円	4,702,066 円
	費 用	86,412,156 円	81,534,161 円	4,877,995 円
	差 引	349,982 円	525,911 円	△ 175,929 円
B 型	収 益	19,295,484 円	20,935,888 円	△ 1,640,404 円
	費 用	17,822,462 円	19,341,531 円	△ 1,519,069 円
	差 引	1,473,022 円	1,594,357 円	△ 121,335 円
合 計	収 益	106,057,622 円	102,995,960 円	3,061,662 円
	費 用	104,234,618 円	100,875,692 円	3,358,926 円
	差 引	1,823,004 円	2,120,268 円	△ 297,264 円

令和2年度の就労支援事業A型の収支は349,982円の黒字で、就労支援事業B型の収支についても1,473,022円の黒字となりました。なお、この黒字相当額については、A型は工賃変動積立金に、B型は設備等整備積立金に積み立てることとしました。

③ 賃金及び工賃の状況

区分	年 度	人 数	賃金・工賃 (賞与を含む)	平均月額賃金・工賃 (賞与を除く)	備 考
A 型	令和2年度	12 人	13,024,920 円	87,951 円	最賃900円 適用4人 最賃899円 適用5人
	令和元年度	11 人	12,032,130 円	88,652 円	
	増減	1 人	992,790 円	△ 701 円	
B 型	令和2年度	15 人	6,337,544 円	35,494 円	
	令和元年度	16 人	6,914,210 円	34,465 円	
	増減	△ 1 人	△ 576,666 円	1,029 円	

令和2年度のA型の平均月額賃金は87,951円で、前年度に比べ701円減少しました。また、最低賃金適用者は前年度から1名減の4名となっています。一方、B型の平均月額工賃は35,494円で、前年度に比べわずかながら1,029円向上しました。

(4) 職員配置状況

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合 計
管理者	1人(他事業と兼務)	—	1人
サービス管理者 (兼生活支援員)	1人	—	1人
生活支援員	4人(他事業と兼務1人)	1人	5人
職業指導員	3人	1人	4人
事務員	1人	1人	2人
合 計	10人	3人	13人

Ⅲ-3 単独型短期入所事業(安倉ホーム・ENJOYハウス・来夢)

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。特に、令和2年5月の緊急事態宣言発令時には5月の全日を三事業所とも休所扱いとし、事業の継続を図ることができませんでした。6月以降については感染症予防による利用者からの宿泊のキャンセル事案はありましたが、三事業所とも感染症予防を徹底しての通常業務を実施しました。

(1) 短期入所運営状況

【安倉ホーム(男性対応)】

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	備 考
定 員	4 人	4 人	- 人	
年間開設日	213 日	234 日	△ 21 日	
年間利用者(実数)	16 人	17 人	△ 1 人	
年間延べ利用者	491 人	709 人	△ 218 人	
平均利用者数/日	2.3 人/日	3.0 人/日	△ 0.7 人/日	

【安倉ホーム(女性対応)】

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	備 考
定 員	4 人	4 人	- 人	
年間開設日	193 日	229 日	△ 36 日	
年間利用者(実数)	10 人	13 人	△ 3 人	
年間延べ利用者	394 人	502 人	△ 108 人	
平均利用者数/日	2.0 人/日	2.2 人/日	△ 0.2 人/日	

【ENJOYハウス(男性対応)】

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	備 考
定 員	4 人	4 人	- 人	
年間開設日	188 日	231 日	△ 43 日	
年間利用者(実数)	19 人	21 人	△ 2 人	
年間延べ利用者	579 人	816 人	△ 237 人	
平均利用者数/日	3.1 人/日	3.5 人/日	△ 0.4 人/日	

【ENJOYハウス(女性対応)】

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	備 考
定 員	3 人	3 人	- 人	
年間開設日	188 日	191 日	△ 3 日	
年間利用者(実数)	17 人	19 人	△ 2 人	
年間延べ利用者	345 人	445 人	△ 100 人	
平均利用者数/日	1.8 人/日	2.3 人/日	△ 0.5 人/日	

【来夢(男性対応)】

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	備 考
定 員	4 人	4 人	- 人	
年間開設日	207 日	233 日	△ 26 日	
年間利用者(実数)	10 人	11 人	△ 1 人	
年間延べ利用者	538 人	671 人	△ 133 人	
平均利用者数/日	2.6 人/日	2.9 人/日	△ 0.3 人/日	

※ 定員とは別に緊急時受入枠 1人

(2) 安倉ホーム スプリンクラー未設置に係る対応について

短期入所施設のスプリンクラー設置基準は、消防法の運用により、障害支援区分 4以上の利用者の利用割合が 80%を超える場合を設置要件としていることから、施設の利用割合が 80 %未満となるように運用しています。

なお、令和2年度の利用割合は、次のとおりです。

区 分	開設日延べ定員	障害支援区分 4以上		障害支援区分 3以下	
		延べ利用者数	比 率	延べ利用者数	比 率
安倉ホーム(男子)	852 人	442 人	51.9 %	49 人	5.8 %
安倉ホーム(女子)	772 人	393 人	50.9 %	1 人	0.1 %
計	1,624 人	835 人	51.4 %	50 人	3.1 %

(3) 介護給付費の状況

区 分	令和 2 年度	令和 元 年度	増 減	備 考
安倉ホーム	18,085,579 円	21,746,243 円	△ 3,660,664 円	
ENJOYハウス	20,028,021 円	23,477,419 円	△ 3,449,398 円	
来 夢	10,364,646 円	10,452,343 円	△ 87,697 円	
合 計	48,478,246 円	55,676,005 円	△ 7,197,759 円	

(4) 職員配置状況

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合 計
管理者	3 人(他事業と兼務)	—	3 人
生活支援員	4 人(他事業と兼務1人)	1 人	5 人
調理員 (安倉ホーム、来夢)	—	4 人	4 人
添乗員 (ENJOYハウス)	—	3 人	3 人
合 計	7 人	8 人	15 人

Ⅲ-4 日中一時支援事業(つばさ&ミッキー)

日中一時支援事業は、宝塚市の地域生活支援事業の一時預かり事業として学校の放課後や施設利用後の日中における活動の場を提供し、また、学校の長期休業期間中は「ミッキー」と称して、日中における活動の場を提供しています。令和2年度は、新たに4名の学齢児童と利用契約を締結し、サービスの提供を始めました。

(1) つばさ・ミッキー 運営状況

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	備 考
定 員	15 人	15 人	－ 人	
延べ開設日	238 日	236 日	2 日	
年間利用者(実数)	68 人	80 人	△ 12 人	
学齢児童	34 人	43 人	△ 9 人	
成人(18歳以上)	34 人	37 人	△ 3 人	
年間延べ利用者	588 人	708 人	△ 120 人	
学齢児童	266 人	328 人	△ 62 人	
成人(18歳以上)	322 人	380 人	△ 58 人	
年間延べ利用時間	15,946 時間	16,222 時間	△ 276 時間	
学齢児童	8,036 時間	8,165 時間	△ 129 時間	
成人(18歳以上)	7,910 時間	8,057 時間	△ 147 時間	
平均利用者数/日	13.8 人	14.4 人	△ 0.6 人	

※ ここでいう成人とは18歳以上をいい、通常、自己負担金が0円となる利用者です。

※ 令和2年度中の利用者は、男性 57人、女性 11人の 68人です。

(2) 受託事業収益の状況

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	備 考
宝塚市受託事業収益	33,147,158 円	26,004,914 円	7,142,244 円	
利用者負担金収益	3,296,231 円	4,703,477 円	△ 1,407,246 円	

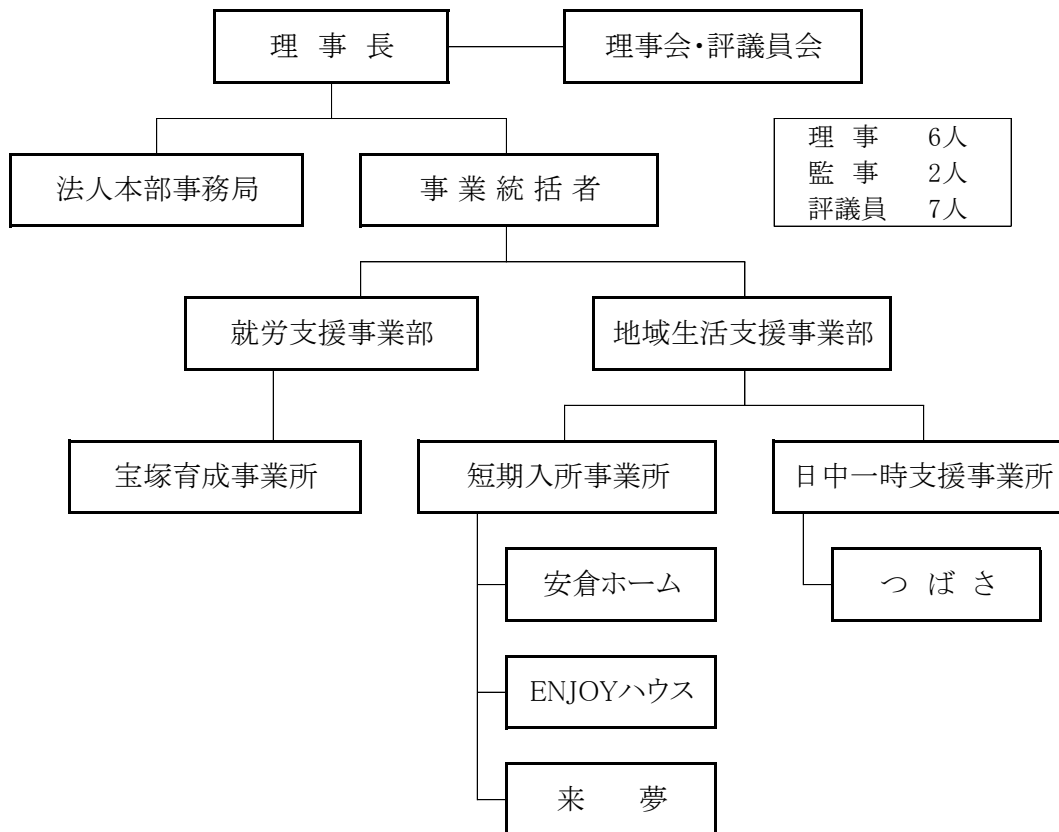
(3) 職員配置状況

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合 計
管理者	1人(他事業と兼務)	－	1人
生活支援員	3人	10人	13人
合 計	4人	10人	14人

※ 臨時職員の1カ月あたりの従事者は、10人程度となっている。

IV 法人の状況及び運営等

IV-1 法人の組織



IV-2 職員の状況

区分	令和2年4月1日	雇用(4月1日を含む)	退職(3月31日を含む)	令和3年3月31日
正規職員	15 人	1 人	1 人	15 人
男性	8 人	- 人	1 人	7 人
女性	7 人	1 人	- 人	8 人
嘱託職員	5 人	- 人	- 人	5 人
男性	4 人	- 人	- 人	4 人
女性	1 人	- 人	- 人	1 人
臨時職員	10 人	2 人	1 人	11 人
男性	1 人	- 人	- 人	1 人
女性	9 人	2 人	1 人	10 人
合計	30 人	3 人	2 人	31 人
男性	13 人	- 人	1 人	12 人
女性	17 人	3 人	1 人	19 人

※ 臨時職員は、雇用契約を締結している職員に限る。

IV-3 役員等の選任状況について

① 役員(理事及び監事)

選任日	令和元年6月25日
任期	(自) 令和元年6月25日 (至) 令和3年6月開催の定時評議員会終了時まで
理事	浅山 みゆき
理事	植戸 貴子
理事	浦野 のり子
理事	大野 セツ子
理事	小原 正義
理事	小原 冷子
監事	佐藤 寿一
監事	染川 智香(令和2年6月29日付、退任)
監事	高橋 千明(令和2年6月29日付、選任)
	(敬称略、五十音別)

② 評議員

選任日	令和2年6月23日
任期	(自) 令和2年6月29日 (至) 令和6年6月開催の定時評議員会終了時まで
評議員	今北 さゆり
評議員	久保 明子
評議員	辻井 善弘
評議員	西田 弓子
評議員	紅山 修
評議員	山田 精一
評議員	米田 直人
	(敬称略、五十音別)

IV-4 理事会及び評議員会等の開催状況

会議の名称	第1回 理事会(書面決議)
送達日	令和2年5月27日(水)
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告及び決算に係る計算書類等の承認について ・評議員候補者の推薦について ・評議員会の招集について

会議の名称	第2回 理事会
開催日時	令和2年6月22日(月) 14時～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 5名(欠席理事 1名)、出席監事 1名(欠席監事 1名)
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言発令中の障害福祉サービスの実施状況について ・監事候補者の選出について ・令和2年度資金収支予算(第1回補正予算)について
会議の名称	評議員選任・解任委員会
開催日時	令和2年6月23日(火) 16時～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席委員 3名(欠席委員 0名) 出席理事 理事長
議 題	・評議員の選任について
会議の名称	評議員会(定時評議員会)
開催日時	令和2年6月29日(月) 10時～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席評議員 6名(欠席評議員 1名)、出席理事 2名、出席監事 2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告及び決算の承認について ・監事の選任について
会議の名称	第3回 理事会
開催日時	令和2年8月26日(水) 14時～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 5名(欠席理事 1名)、出席監事 2名(欠席監事 0名)
議 題	・令和2年度第1四半期の業務執行状況について
会議の名称	第4回 理事会
開催日時	令和2年11月24日(火) 14時～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 5名(欠席理事 1名)、出席監事 2名(欠席監事 0名)
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第2四半期の業務執行状況について ・苦情対応規程に規定する第三者委員の委嘱に係る専決処分について ・平成24年度来の事業活動状況について
会議の名称	第5回 理事会
開催日時	令和3年2月16日(火) 14時～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 6名(欠席理事 0名)、出席監事 1名(欠席監事 1名)
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度資金収支予算(第2回補正予算)に係る専決処分について ・令和2年度第3四半期の業務執行状況について
会議の名称	第6回 理事会
開催日時	令和3年3月23日(火) 14時～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 6名(欠席理事 0名)、出席監事 2名(欠席監事 0名)
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画及び資金収支予算(当初予算)について ・社会福祉法人宝塚いくせい会就業規則の改正について

IV-5 職員研修及びリスク管理

(1) 職員研修

令和2年度はコロナ禍の影響もあって対面研修が実施できませんでした。そのため、宝塚育成事業所ではオンライン研修を活用し、兵庫県から配信されたコロナ感染症に係る動画を職員間で共有しました。

【主な研修事業】

令和2年 5月	・高度管理医療機器等販売に係る継続研修(宝塚育成事業所職員)
12月	・就労支援フォーラムNIPPON2020オンライン研修(宝塚育成事業所職員)
令和3年 1月	・社会福祉法人連絡協議会WEBミーティング研修(宝塚育成事業所職員)

(2) リスク管理

令和2年度は新型コロナウイルス感染症という大きなリスクが長期間、各事業所の日常のなかに居座り続け、その対応に追われる状況となりました。各事業所とも感染予防対策の徹底を第一に、利用者の日常生活の維持のため事業の継続を図りました。また、日常的なヒヤリハットの発生についてもより大きな事故につながることを防ぐために情報の共有や日々の支援の方法を検証することで職員の意識づけにつなげています。

IV-6 その他の取組み

(1) 新型コロナウイルス対策に係る兵庫県及び宝塚市の交付金等

区 分		金 額	摘 要
収入	補助金事業収入	1,385,000 円	
	兵庫県	785,000 円	緊急包括支援交付金
	宝塚市	600,000 円	感染拡大防止事業補助金
	施設整備等補助金収入	180,000 円	
	兵庫県	180,000 円	緊急包括支援交付金
計		1,565,000 円	
支出	事業費	735,000 円	
	保健衛生費支出	55,000 円	消毒剤
	消耗器具備品費支出	590,000 円	掃除機、空気清浄機等
	車輛費支出	90,000 円	車輛カーナビゲーション
	事務費	650,000 円	
	事務消耗品費支出	200,000 円	事務用パソコン等
	業務委託費支出	450,000 円	エアコン・クリーニング業務
器具及び備品取得費支出	180,000 円	エアコン設置	
計		1,565,000 円	

(2) 善意銀行(宝塚市社会福祉協議会)より、宝塚育成事業所に対して30,000円の配分金をいただき、就労事業に利用可能なシュレッダーを購入しました。

(3) 防災及び福利厚生取り組み

時 期	項 目
令和2年 4月	・ ENJOYハウス 消防設備点検
6月	・ 宝塚育成事業所、安倉ホーム、ENJOYハウス 害虫駆除
7月	・ 宝塚育成事業所 消防設備点検、消防避難訓練
8月	・ 宝塚育成事業所、安倉ホーム、ENJOYハウス、来夢 害虫駆除
9月	・ つばさ 害虫駆除 ・ 宝塚育成事業所利用者 日帰り旅行 (9/24姫路方面)
10月	・ 宝塚育成事業所利用者 日帰り旅行 (10/1淡路方面・10/9神戸方面) ・ 安倉ホーム 消防設備点検 ・ 宝塚育成事業所 消防避難訓練 ・ 職員及び宝塚育成事業所利用者健康診断 (21日)
11月	・ 宝塚育成事業所利用者 インフルエンザ予防接種
12月	・ 宝塚育成事業所 消防設備点検 ・ ENJOYハウス 消防設備点検
令和3年 3月	・ 宝塚育成事業所 消防避難訓練